

# ウインドクラストとモナカ雪の 会津駒・大戸沢岳・柔場小沢

1995年3月27日

メンバー：L岩 裕 手塚紀恵子、山村高也

3/27 晴のち曇 今年は、登山口にまだ2m近い積雪がある。宿の御主人によると例年より1m以上多いとのこと。

登山口からはやはりシュプールがたくさんあり、いつも登りに使うルートにもしっかりトレースがあったのでそのまま使わせてもらう。今朝は檜枝岐で-10°Cまで冷え込み一部クラストしておりスキーアイゼンを使う。今期2度目の会津駒は、また、快晴だった。大戸沢岳まで、そのまま、シールで進む。快適な稜線漫歩だが、天候が下り坂なのか気になる。大戸沢岳北端14時、天候は、まだ晴れ、西方の山は霞みつつあるが東方の山には春の陽がよくさしている。

滑り出しはややウインドクラスト気味だったが快適にスキーを滑らす。しかし、下るにつれて、クラストがきつくなり、ついには、全面完全モナカ雪となる。しかも、山頂から離れるにしたがいサインカーブを描くよう斜度がきつくなる。全面完全モナカ+無立木大斜面+30度急斜面である。くやしいかな、回せない。仕方なく斜滑降、キックターンで下る。心の中では、今度また来るぞ、今度は回してやるぞ、と叫びながら。大戸沢尾根は木が密集しており、柔場小沢にはいる。この沢は思ったより広く快適である、もちろん、水は雪の下、白銀の斜面が続く。大戸沢岳からの滑降ルートとしては、この柔場小沢を使う方が適当に思える。柔場小沢から下大戸沢の出合は、柔場小沢側が少し切れている。このため、いったん南側の大戸沢尾根側の台地に上がってから下大戸沢に滑り込むと良い。この下大戸沢もとても明るく広い沢で、こ

れまた気持ちが良い。また、ここからのぞむ大戸沢岳から三岩岳の稜線は鋭いひださえ見せて、会津駒とはまた違った印象を与える。三岩沢は雄大で、もし滑降できれば素晴らしいが、雪崩には十分注意が必要だろう。広い下大戸沢を快適に滑り、下大戸沢スノーシェッドの檜枝岐側出口に出る。沢をうまく使ったおかげで、モナカにもかかわらず標高差1250mを1時間45分で下る。さらにラッキーなことに、国道に下りてすぐに檜枝岐行バスが来て、あっという間に宿に戻れた。天気はすでに曇りだが、なんとか保った。

(タイム) 檜枝岐7:40 (車) 滝沢橋(930m)8:00-TV塔(1370m)9:30-1700m点11:00-1950m点12:00-会津駒山頂(2132.4m)13:05-大戸沢岳(2089m)13:50-同北端14:00, 14:25 ～柔場小沢上部(1680m)15:25～柔場小沢(1100m)15:55 ～下大戸沢スノーシェッド(840m)16:10, 16:15 (バス) 檜枝岐16:30 (岩 裕 記)

